

保育おおさか

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)

令和5年11月1日

No.579



発行人 森田 信司 編集人 向井 秋久

大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001

FAX.06-6768-2426

http://www.niji-tumi.net/



わーい!
落ち葉のプールだ!

枚方市
くずは光の子保育園

高校生「五日間の夢体験」 夏に紡いだ、保育士の夢

府社協・大阪福祉人材支援センター

昨年度に引き続き、今年度も7月24日から8月25日の夏休み期間中、高校生のための保育の職業体験事業「五日間の夢体験」を実施しました。

同事業では、府内70校から515人の生徒が178カ園の受入事業所で職業体験に参加し、多くの生徒が保育の魅力にふれる夏となりました。受入事業所の皆様には、厚くお礼申し上げます。

センターに寄せられた高校生の声を一部紹介します。「はじめは、子どもたちと仲良くなれるかなあ、怖がられへんかなあと、不安と緊張でいっぱいでしたが、2日目からは、初日より話しかけてくれる子がたくさんいました。カスタネットの練習を何回も行い、最後にみんなでそろった時に喜んでいたのが印象的でした。子どもたちのうれしそうな顔に、私も笑顔になりました。最終日には、初日に話しかけた際、あまり反応してもらえなかった5歳児クラスの男の子が、自分で作ったブロックを見せてくれてほめてあげたところ、とても喜んでくれて、幸せな気持ちになりました。この貴重な5日間で見えた子どもたちの表情と、先生方の行動や言葉選びを忘れず、将来の保育士になる夢を必ず叶えます」

ほかに、「5日間で学んだことを糧にして、進路選択に役立てたい」「保育士をめざす気もちがさらに強くなった」といった生徒たちの声が多数届いています。

また、生徒の保護者からも「この体験を通して、将来、どのような進路へ進むのかなど、いろいろと考えるきっかけになり、よい経験になりました。体験先では、〇〇先生と呼んでいただき、しっかりと保育のすばらしさ、たいへんさを教えてくださいましたことがうれしかったようで、目を輝かせて、私に話してくれました」と、感想をいただいています。

次年度も本事業がより充実したものとなりますよう、引き続きご協力のほど、よろしくお願いたします。

養成校との研究懇談会

4年ぶりに対面形式で開催

保育業界の発展のための人材確保・養成にどう取り組んでいくのかについて話し合う「第10回 保育士養成校と保育園・認定こども園との研究懇談会」が令和5年8月29日（火）にシエラトン都ホテル大阪で開催されました。

4年ぶりに対面形式で行われた研究懇談会には保育士養成校から41人の教職員、保育園・認定こども園からは109人が参加しました。

参加者は17グループに分かれ、顔を見て話しやすいように8人程度が円卓を囲みました。また、養成校の意見を直接聞けるように、各グループに養成校の先生が入っていたり、より良い保育のための協働」をテーマに研究懇談会を行いました。

第1部の研究会では、学校法人関西学院聖和短期大学 森知子先生から、厚生労働省の「保育の現場・職



報告される森知子先生



業の魅力向上検討会」の報告書についてお話をいただきました。これは、「保育士という職業のやりがいや魅力」「働く場所としての保育所の魅力」という視点でのパブリックコメントや、保育士の離職理由・在職年数や採用状況などの調査報告書を取りまとめたものです。その内容や資料の見方などを森先生から説明いただき、「保育の魅力とは何か」「それをどのように発信していけばよいのか」についてお話いただきました。

ンに入りました。テーマは「これからどういう保育士養成のあり方が離職防止につながるのか」「養成校と施設とのこれからのチームワーク・協働でめざすもの」。

ディスカッションが進むにつれて内容は2つのテーマから広がっていき、「保育実習を受けるにあたって困ること」や「新卒採用がほばないなか、養成校卒業生はどこに就職したのか」という疑問、「実習先で保育の魅力を感じずるためにはどうすればよいのか?」など、活発な意見が交換され、共感のうなずきや拍手、笑い声が会場にあふれました。その後、いくつかのグループの代表がディスカッションの結果を報告。さまざま視点や意見を全体で共有しました。

てもらうために、受け入れる園の雰囲気作りを大切にしたい

◆保育の魅力・子どもの成長の素晴らしさを実感できるプログラムがあればよい

◆学生にとって実習ノートは負担が大きいのではないかと?

◆実習ノートは手書きではなくパソコンで作成した方が省力化になるのではないかと?

◆実習の途中、平日に心身ともに休息できる休日を作れるのはどうか?

◆保育をめざす学生が少なくなりつつあるのだから、小中高の時代に子どもとふれあう機会を設けて、子どもたちの成長の素晴らしさなどを体感してもらえないだろうか?

すぐにすべてが解決できる策はありませんが、子どもを預かる施設同士が同じような悩みをもっていることを実感したり、養成校の実習指導の先生から話を聞くことで、新卒職員の行動や思考が少し理解できました。また、他園の話も聞き、座学の研修では得られ



グループで意見交換をしました

ない学びがありました。

第2部の懇談会では、同じ円卓で食事をとりながら、それぞれの園の話や養成校の学生さんの話などをし、有意義な時間を過ごしました。

人材確保は、これからも非常に大きな課題です。だからこそ、今できることを少しずつでもはじめていくことが大切だと思います。そのために必要な現状の把握や学生の動向などについて、保育士養成校の先生方のお話を直接聞ける機会がこの研究懇談会です。

今まで参加が難しかった方も、今回は是非ご参加ください。(編集委員 S・K)

トップの資質は組織力発揮の大きな要素を占めます。業種は異なるものの同じトップとして、3月のWB Cで優勝を果たした栗山監督、9月にU-18を世界一に導いた馬淵監督、いずれも野球界の名将として名高いお2人の、確かな成果を生み出すリーダーシップに係る発言を調べてみました。

栗山監督は「指導者は十分努力して勉強しないとそれに勝る人間は育たない、成長はあり得ない」と断言され、馬淵監督は「世界と戦うには『スモールベースボール』、いわゆる日本の野球に徹し、組織的チーム作りを行うことが大事」と話されていました。

私はお2人の言葉から、トップは常に初心を忘れず、絶え間なく努力し成長することが大事であると改めて感じました。また、チーム力を最大限に高めるために「同僚性」が十分発揮できる組織作りにも努めていかねばならないと思います。

(編集委員 Y・S)



みんなが主役！
明るく楽しくなる
保育現場の秘訣！



ほめ育シニアコンサルタント
中園 暁子氏

⑧ ケーススタディその2

「失敗してしまった…気持ちを立て直すために」

今月もケーススタディで考えていきましょう。ではさっそく一つめです。

◆CASE 1

私は保育士10年目。最近
は、若い保育士とベテラン
との板挟みが続き、精神的
にキツイ毎日が続いていま
す。若い保育士は、毎日が
必死で日々のできごとに落
ち込むことが多いので、も
う少しがんばってほしいと
言いたくても我慢していま
す。私は後輩保育士への接
し方に悩みが尽きません。

さて、この保育士さんは
後輩保育士に、何と声をか
ければいいのでしょうか。
そして、現状打開の方法
は？

まず、後輩保育士が落ち
込んでいるときの声のかけ
方です。前号でも書きまし
たが、まずは相手の落ち込
み度合いを見極める必要が
あります。相手はかなり落
ち込んでいるときは、まず
は相手の気持ちを吐き出さ
せることから始めます。
気持ちがいつぱいいつぱ
いになっているときに、人
のアドバイスは受け入れら

れないものです。気持ちを
しっかり聞いてから「あな
たはどうしたいの？」と本
人の意志を確認します。

自分で考え、自分の意志
を周囲に伝えることも本人
の「成長」に必要なステッ
プだと私は思います。本人
の意志を尊重しつつ、組織
としての方向性とすりあわ
せるために、コミュニケーション
を重ねていくことが
必要ですが、ここを飛ばす
と別の壁ができてしまうこ
ともありますから、がんば
りどころといえます。

また、この「後輩保育士
さんや、子どもたちに携わ
る仕事をされている方にお
伝えたいのは、子どもた
ちと一緒にいるときは「スイッ
チをオンにする」というこ
とです。

働いていると、人間関係
やプライベートで悩んだ
り、保護者からのお叱りを
受けて笑えない状況だっ
たり、と毎日さまざまな感情
が私たちを襲います。でも、
子どもたちの前では「笑
顔」。こう決めて実践するこ
とが「スイッチオン」です。
そして、できれば「仕事」
そのものへのスイッチも

作ってほしいと思います。

仕事のときはこういう自
分、と決める。そして仕事
としてお互い言うべきこと
は言う。仕事としてやるべ
きことをやる。こちらの気
もちは、目の前の子どもた
ちや仕事には関係のないこ
と。感情はいったん棚の上
に置いてしまいます。これ
は先輩や上司だけでなく、
全員でやることに意味があ
ります。そのうえで、後輩
保育士さんとスイッチオン
状態で対話する時間がある
といいなと思います。

お互いスイッチの入った
「1on1」は非常に効果的で
す。「後輩に我慢して言いた
いことを言えない」とか「言
いにくい」という問題は
なくなり、お互い子どもた
ちのために言うべきことを
言う、園のために伝えるべ
きことを伝える。そう変化
していくはず。保育士
として話す場合はお互い
の「1on1」で、時間外だ
からこそ話せることはス
イッチをオフにするなど工
夫して、お互いをわかりあ
う機会、伝えあう機会を作
ることが大切です。

作ってほしいと思います。
仕事のときはこういう自
分、と決める。そして仕事
としてお互い言うべきこと
は言う。仕事としてやるべ
きことをやる。こちらの気
もちは、目の前の子どもた
ちや仕事には関係のないこ
と。感情はいったん棚の上
に置いてしまいます。これ
は先輩や上司だけでなく、
全員でやることに意味があ
ります。そのうえで、後輩
保育士さんとスイッチオン
状態で対話する時間がある
といいなと思います。

こういう提案をすると

「無理です」「できないです」
と言う方もいますが、性格
や年齢、経験は関係ありま
せん。肝心なのは「まずやっ
てみる」ことです。「楽しい
から笑うのではない、笑う
から楽しいのだ」とは、ア
メリカの哲学者であり、心
理学者であるウィリアム・
ジェームズの言葉です。「笑
う」が先とは、つまり「行
動が先」ということです。
「笑う」「スイッチオン」
と決めた瞬間から、変化が
はじまります。

欲張ってもう一つショ
トケーススタディです。

◆CASE 2

あなたの上司が仕事でミ
スをして現場は混乱。上司
は皆に「ごめんね」と謝っ
たあと口数が少ない。さて
部下のあなたは どうしま
すか？

その上司が良い人かどう
か、愛され上司かどうかは
ここでは考えないでおきま
しょう(笑)。差し入れをし
ながら優しく気遣う、逆に
近くにいないようにする、
などいろいろなパターンが
あります。どんな行動も「相

手を思いやる」という点で
間違いないと思います。

私からの提案は「今」に
徹底する、ということ。す
それは失敗した本人にもそ
うであってほしいと思っ
ています。ミスに対して誠実
な対応と反省をしたら、次
へ進むことが大切だからで
す。本人も周囲もミスを
引っ張りすぎず、「今」に集
中します。特に、笑って話
せないときの会話は「事実
ベース」で、「〇〇できまし
た」「電話します」というも
のテンションを進めます。

何があっても、それぞれ
が「スイッチオン」の状態
で次の仕事に明るく向かう。
それが仲間なのではないで
しょうか。

この2カ月にわたるケー
ススタディ、いかがだった
でしょうか？ ここで記し
た回答例は、現場の先生方
に教えていただいたことで
もあります。ご協力いただ
いた編集委員の先生方に心
より感謝申し上げます。

次号12月号は、
⑨ 職場を楽しくする
エッセンス！「ポジティ
ブシンキング」をお届け
します。

保育園・認定こども園をたずねて



守口市

「大好きなこと」をとおして個性を育む

梶^{かじ}らしいこっじ学園

幼保連携型認定こども園

梶らしいこっじ学園は大阪15分の住宅街にあります。民営化により平成30年に認定こども園として開園。その際建てられた新園舎は、サッカーボールの模様と同じ形をしたホールを中心に保育室が配置

されています。

サッカー、英語、絵画、リズム、科学あそび、文字・数あそび…と多彩な活動をされており、一人ひとりが自ら「大好きなこと」を見つけ、個性を伸ばしていくことを大切にされています。

特に力を入れられているのはサッカーです。1・2歳児はソフトボールでキャッチボールをしますが、3・4・5歳児はサッカーボールでドリブルを中心とした年齢にふさわしい活動をされています。低年齢児から継続して

ボールにふれるため年長児になると「友だちを応援する」「人のことを見る」「チームでがんばる力」が育まれます。

毎日の保育では英語活動をされています。ネイティブ・ティーチャーはいろいろな国の方がおり、子どもたちは多様性を受け入れながら「本物の英語」にふれています。

園長先生は、子どもたちが「大好きなこと」を通して「オンラインワンの存在」になれるよう保育教諭と専門の講師が



▲ 友だちとの関係を育てるサッカー遊び

タッグを組み、日々子どもたちに関わる取り組みをしていると話されていました。

(編集委員 E・I)

岸和田市

優しい自然を感じられる新園舎

認定こども園五風会^{いっふうかい}

幼保連携型認定こども園

認定こども園五風会は、一年を通じて樹々の生い茂る園庭、近くの岸和田城など、多くの自然にふれられる恵まれた環境のなかにあります。この春、築53年の園舎に別れを告げ、新園舎で新たな日々をスタートしました。



▲ あたたく子どもたちを見守る中庭の一本松

新園舎が文化的な街づくりの一端になればという法人の思いを実現するべく、設計は

安藤忠雄建築研究所が手掛けたとのこと。

新園舎の中庭と屋上はウッドデッキ園庭で、園児が手にふれる部分の内装は全て柔らかく優しいシナの木で統一されています。園全体が木であたたく包まれた環境が子どもたちにふさわしいという安藤先生の思いと、安藤建築の特徴が現れた建物になっています。安藤先生は、「この円い園舎から丸い地球を感じ、平和でつながってほしい」とおっしゃったそうです。

環境が子どもをつくる、これは園の理念でもあります。中庭の中央には五風会のシンボルとなっている一本松がそびえ、この場所が同園に関わるすべての人々にとっての出会いの場や、心の風景の一つになればと見守ってくれています。

「私たちもこの素晴らしい新園舎を大切にしながら、未来を担う子どもたちをていねいに育み、がんばっていきなさいと思います」と園長先生はおっしゃいました。

(編集委員 T・F)

